

日本文学科 学科紹介

使用資料：「大学案内 2023」、「入試ガイド 2023」

① 日本文学科とは — 「大学案内 2023」 p.61—

- ・日本文学と日本語を専門的に扱う中心的な学科
- ・文学が好きな人、ことばに興味がある人の来る学科
- ・専門領域は、以下の3領域7分野

■日本文学

- (1)上 代（奈良時代）……………万葉集・古事記・日本書紀・風土記…
- (2)中 古（平安時代）……………源氏物語・枕草子・蜻蛉日記・古今和歌集・今昔物語集…
- (3)中 世（鎌倉・室町時代）……………新古今和歌集・平家物語・徒然草・宇治拾遺物語・謡曲・連歌…
- (4)近 世（江戸時代）……………奥の細道・世間胸算用・雨月物語・浄瑠璃・歌舞伎・俳文・俳諧…
- (5)近現代（明治時代以降）……………『青鞥』・近代詩・太宰治・書誌出版・メディア・ジェンダー…

■(6)日本語学……………意味論・語彙論・文字論・文法論・国語史・方言学・言語情報処理論…

■(7)漢文学……………詩経・史記・楚辞・淮南子・世説新語・烈女伝・李白・杜甫…

② 大学・学科選びのポイント

㊦図書館の充実度は？ 「大学案内」 p.150

→本学は、専門書の蔵書数と古写本・版本の収蔵で有名。草稿・テキスト研究所も設置されている。

㊧大学院は設置されているか？ 「大学案内」 p.147

→本学大学院言語文化学専攻では、修士課程二年と博士後期課程三年を設置する。

㊨多様な卒論ゼミがあるか？ 「大学案内」 p.64, 65(卒論のテーマ、ゼミ紹介)

→上記①の7分野にゼミがあり教員13人を配置し、2年間の「卒業論文ゼミ」で実践的な指導を行う。

㊩諸課程が設置されているか？ 「大学案内」 p.15, 16

→教職課程・学校図書館司書教諭課程・図書館司書課程・博物館学芸員課程を設置。

→教職総合支援センターがサポート「大学案内」 p.18

・取得できる資格 →「大学案内」 p.15～17,61

㊪就職支援は、しっかりしているか？ →「大学案内」 p.23～26

→キャリア支援・就職対策のために、ガイダンス・講座・試験対策などを多様に実施している。

→キャリア支援センターがサポート、大妻マネジメントアカデミー（OMA）も充実。

③ 4年間の授業の流れ 「大学案内」 p.63

- 1年：専門科目は文学史にかかわる基礎知識を習得する。広く教養科目も履修する。
必修科目「日本古典文学入門・変体仮名読解・基礎ゼミⅠ」は少人数で、共通教材を使用する。
- 2年：専門科目に「演習」「講義」が加わり、作品の読解方法を学び、研究能力を養う。教養科目も履修。
「演習」は、受講生が発表資料を作成し、それに基づいた発表をして質疑応答する授業。
「基礎ゼミⅡ」ではアカデミックスキルを向上させる。
- 3年：専門科目に学部共通科目や隣接領域科目が加わり、視野を広げ、思考力をきたえて、自分の力で作品を読み、分析する研究能力を高める。志望による少人数で構成する「卒業論文ゼミ」（時代分野別）が始まる。
- 4年：各自の課題に即した科目を履修しながら、卒業論文（400字原稿用紙、50枚以上）を作成する。
教職課程・博物館学芸員課程などの履修者は、「実習」も入る。

④ 授業以外の主な学科行事 「大学案内」 p.65

(1) 学科主催の行事

- 1年……………○オリエンテーション：日本文学科専任教員の紹介や学内の見学会など
- 2年……………○卒論ゼミ相談会：ゼミ選択の一助となるよう、教員が相談会を開催。
○卒論中間発表会：4年生による発表会～3年生も来年のために聴講する。
○研修旅行：例年秋に、参加希望者により2泊3日で実施（京都方面が多い。3年生も可）
- 3・4年 ……○ゼミ活動：歓迎会・合宿・卒論発表会・送別会など、ゼミごとに実施。

- 全学年対象…○海外研修旅行：フランスのブルターニュ地方レンヌ市で行われる日本祭にボランティアスタッフとして参加。茶道、書道といった日本伝統文化や日本語の入門講座などを、現地の方たちに教える活動。ホームステイで交流も深まる。
○貴重書展示：毎年5、6月に大妻博物館において図書館所蔵の古典や近代の貴重書を展示。

(2) 大妻女子大学国文学会の行事

- 国文学会総会：記念講演があり、毎年多様な講演者を招請している。
○国文学会例会：教員や大学院生による、専門的な研究発表の場（年2回開催）
○歌舞伎・文楽鑑賞会（年数回実施。希望者）